

GREETING ごあいさつ

平素は、森本たかしNEWSをご愛読頂き、ありがとうございます。
 今回は、2040年問題(超高齢社会)に伴う、介護の課題について、取り組んでいます。
 特に、木津ニュータウンでは、子どもと同居、近居ではない方が多いのが実状です。
 超高齢社会に向けての将来予測と今後の取り組みをご報告します。

新風コスモスの会 森本 隆



2040年問題(超高齢社会)を考える

将来予測

- ①市全体の75歳以上の人口は、2023年約10,566人から、2040年約13,400人に約1.27倍に増加する。地域別に分析すると、木津西圏域(兜台、相楽台、木津川台他)が約1.4倍以上に増加する見通し。
- ②要介護度が高い(要介護3～5)高齢者は、2024年から2040年に向けて、約1.7倍に増加する見通し。

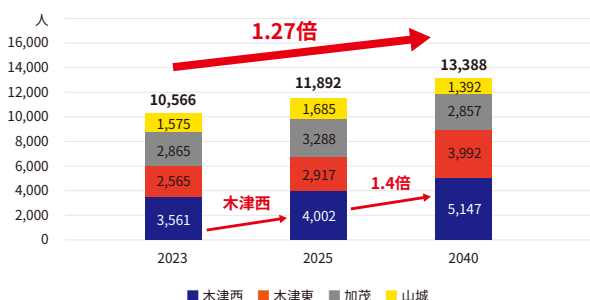
課 題

- ①「要介護度の高い高齢者がどこに住み、誰が介護するのか」が2040年の超高齢社会の最大の課題。
- ②2024年要介護3～5の方々1307人は、特養等施設に423人、自宅・有料老人ホームに882人居住。2040年には、2173人に増加する将来予測、特養等施設定員を706人に大幅に増やす必要がある。

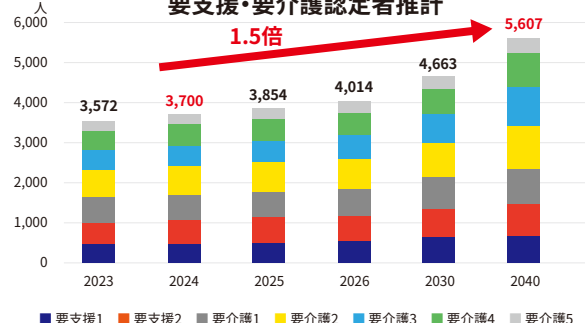
市への提案

- ①特養等の施設定員を増やすために、特に小中学校の児童数減少により空き教室が増える中、京都市等、先進自治体で実施している「学校施設の介護施設への転用」を計画的に進めるべき。
- ②介護人材確保が難しくなる中、外国人の介護人材確保と同時に、介護ロボットの導入を目指して、2040年を見据えた「木津川市介護テクノロジー導入計画」を策定し、市独自の購入・レンタル補助制度を進めるべき。

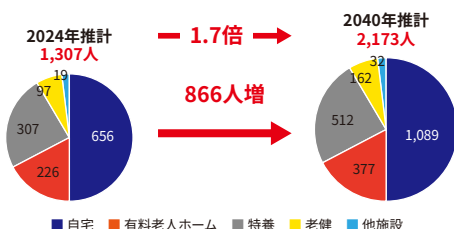
市内 各圏域75歳人口推移



要支援・要介護認定者推計



要介護3～5認定者 居住場所(独自推計)



特養+老健他施設:423人 → 283人増 → 特養+老健他施設:706人



介護ロボットを活用する社会へ

9月議会での質問 (一般質問)

質問 1 持続可能な介護保険事業と地域包括ケア体制は

Q 森本隆 2040年問題は、超高齢社会、「要介護度の高い高齢者がどこで生活し、誰が介護するのか」が今回の一般質問の核心と考えている。

市の2040年の75歳以上の人口、要介護認定者の推計は。

A 健康福祉部 2040年75歳以上人口13388人、要介護認定者5607人を見込んでいる。

Q 森本隆 2040年に向けて、施設介護と在宅介護の役割をどう考えているのか。

A 健康福祉部 在宅介護実態調査では、自宅希望51%、施設希望21%、在宅生活の継続が困難な方を支える施設機能の確保が必要と考えている。

Q 森本隆 市内の特別養護老人ホームの入居希望者は、施設増床計画は。

A 健康福祉部 R7年度の実入所申込者は78人。R9年3月に南山城村に広域型の特養を建設中。(木津川市分50床程度…参考)

Q 森本隆 子どもの人口減少により、学校統合による空き公共施設が発生する。介護施設への転用を検討すべきでは。

A 健康福祉部 現在、具体的な転用計画はない。次期計画の中で中長期的な介護施設ニーズを見据え、検討を進める。

Q 森本隆 木津西圏域(兜台、相楽台、木津川台他)の急激な高齢者人口増加に対応するため、社会福祉協議会の体制強化が必要と考える。

社協支部が入る予定の高的原駅前マンション事業の進捗は。

A 谷口市長 高的原駅前のマンション建設については計画は進捗していると承知している。民間事業者の案件だが、公共的なスペースを確保できる計画段階の案を頂いていて、早期実現はプラス面が大きい。

早期着工の要望について、市の意向を伝えていきたい。

Q 森本隆 2024年の要介護35の方、1307人は、介護実績から特養327人、老健118人、その他39人、自宅643人、有料老人ホーム170人と推計される。

2040年は、866人増加して、2173人となる推計。施設の拡充と自宅での訪問介護体制強化が必要。

A 健康福祉部 全国的な課題なので、国、府の動きをみながら、必要なサービスを実装していく。

Q 森本隆 2040年に向けて、外国人人材の積極的な確保と特養の増床が必要。また、木津川市介護テクノロジー導入計画を作成して、市独自の補助制度を検討してはどうか。

今後、谷口市長のリーダーシップで、2040年問題の課題解決に向けてチャレンジして頂くことを期待している。

質問 2 歩道の草刈りと道路維持管理の効率化は

Q 森本隆 市内歩道草刈りの状況は。

A 建設部長 市内草刈りは、市道は年2回、府道国道は年1回が基本、苦情・要望件数は、R7年度、約30件。

Q 森本隆 除草剤を活用した自治体もあるが、市の考えは。

A 建設部長 除草剤の試験導入の考えは今のところない。

Q 森本隆 奈良市で進めている、張りコンクリート工法、を活用できないか。特に、保育園の入り口など、車の視認性が低下し、安全が確保されない箇所が多数あり危険なため対策が必要。

A 建設部長 張りコンクリートは、費用は掛かるが、特定区間であれば、効果があると認識している。



張りコンクリート工法

産業建設委員会
研修報告

山口県下関市(人口24万人)の上下水道局を訪問し中長期的な経営戦略、AI・人口衛星を活用した漏水調査など、勉強させていただいた。



関門海峡大橋



下関市水道局で販売している、災害備蓄用飲料水「関露水(かんろすい)」1本100円



森本 隆 プロフィール

無所属 新風コスモスの会所属

1959年 大阪府生まれ/1997年から兜台7丁目在住
大阪府立茨木高等学校卒業/京都工芸繊維大学 機械工学科卒業
元パナソニック(株)社員[勤続32年・2015年退職]/木津川市議会議員(2015年～)

議会役歴 市議会議員(2021年～2023年)/産業建設常任委員会 委員長(2025年～)

主な活動履歴 ●兜台7丁目自治会長(2期) ●青少年育成委員(4年)

●東日本大震災「はじめの一歩コンサート」を主催
(2011年から5回実施; 於 高の原)

[家族] 妻と一男一女 [趣味] 写真撮影、旅行、ゴルフ

https://takashi-supportclub.net/

morimoto077473@clock.ocn.ne.jp



HPリニューアル